

巡回きこえとことばの学習会

を行いました



7月24日(木)富加町、7月31日(木)八百津町、8月1日(金)坂祝町にて巡回きこえとことばの学習会を実施しました。聴覚障がい児に関わる職員の方や地域の方などたくさんの方に参加していただきました。

講師には、愛知教育大学特別支援教育講座の岩田吉生先生をお招きし、『きこえとことばの遅れが気になる子どもの理解と指導 ～語彙を増やすための指導・支援を中心として～』という演題で、聴覚障がいに関する理解や認知特性、指導の基本的な考え方、語彙の具体的な指導など幅広い内容でご講話いただきました。その中でも、「聞こえることと理解できることは同じではない。『心で(聴く気持ちをもって)聴く』ことが理解につながる」という話がとても印象に残りました。その他、参加者の方からも「低学年のうちに語彙を増やし、意味や使い方をしっかり学んでおくことがその後の理解に大きく影響することがわかりました」「楽しくても言葉のおさえがないと記憶はとんでいくという先生の言葉が心に響きました」「夏休み明けの授業から生かしていける視点も学ばせていただきました」などたくさんの感想をいただきました。

今年は、3つの町のご協力を経て多くの方に聴覚障がいの理解を深めていただく学習会を行うことができました。これからもより多くの方に参加していただけるような学習会にしていきたいと思ひます。



富加町



八百津町



坂祝町